



安藤春夫博士近影  
(昭和46年12月学部長室にて)

## 安藤春夫博士古稀記念号によせて

安藤春夫博士は本学初代経済学部長として昭和40年9月以来、大学の開設と学部の整備、研究の指導と学生の育成に全情熱を傾けられ、京葉工業地帯の中心にある唯一の経済大学である本学の基盤をつくられました。

先生の大学教育の理想はゼミナールを中心とした個人指導にあり、第1学年より第4学年まで一貫してゼミナールを必修として課し、人格の陶冶をはかると共に、専門的研究を深く進めるという本学独特の教育方針を確立したことは有名であり、他にその類例を見ないところであります。そして、その成果は着々として結実されつつあります。これは敬天愛人を建学の精神とする本学の教育をそのまま具現しているものと申せましょう。

先生の学問上の業績については、もはや縷言を要しませんが、数十編に及ぶ論文と数多くの著書に示されているだけでなく、それらが何れも珠玉の一編であることは学会に認められているところであります。貯政学会においては、井藤—安藤学説として、井藤半彌博士とともにその学説が特に注目されていることは周知のところであります。また方法論上の先生の業績はその論理が鋭利にして綿密、峻厳にして精緻、学問を志す人に多くの示唆を与えるものであります。

先生の御活動は多方面にわたり、現在財政学会監査、経済学会連合評議員として御活躍なされているとともに、本大学の経済学部長のほかに教務部長、図書館長、経済学会運営委員長を兼ねた激職にあり、以前にはその略歴にも見られるごとく多くの要職にあってその成果をあげてこられたのであります。もって先生の学識と行政的能力がいかに優れているかを証明するものであります。

また先生は談論風発、釣りや盆栽の話には玄人はだしの知識と学問的香りの高い格調があり、またとても古稀を迎えられた人とは思えない若々し

さがあふれております。

このたび先生の古稀を祝して記念号を刊行するに当り、井藤半彌博士、岡野鑑記博士、高木壽一博士から特に御寄稿を賜わることができましたことは、創立後日の浅い本学にとってこの上もない喜びであり、深く感謝申し上げる次第であります。

安藤先生が今後ともますます御健勝にすごされ、その高い識見をお示しくださると共に、更に寿を重ねられて本学の発展に御尽力下さることを切に希うものであります。

ここに感謝のしるしとして、この記念号を先生に捧げ古稀をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

昭和41年12月31日

千葉敬愛経済大学経済学会長

千葉敬愛経済大学学長

長 戸 路 政 司